MPE (Microchip Power Estimator)

V2021_R1.0 v2021.x

MACNICA

2022年3月

フィネッセカンパニー

技術統括部

消費電力計算ツール

MPE (Microchip Power Estimator)

- 。 スプレッド・シート・ベースの消費電力計算ツール
- 。 設計前でも電力見積もりが可能
- 動作周波数、デバイス型番、クロック、トグルレート、その他のパラメーターに基づいて電力モデルと組み合わせて、消費電力を推定

● 機能

- 。 迅速な電力見積もりのためにワークシートに統合されたシンプルなGUI
- 。 アクティブモードとスタンバイモードでの電力見積もり
- 。 シナリオを使用した電力見積もり
- 。 デバイスの機能毎に電力見積もり可能な個別のワークシート
- 。 ユーザー指定の温度入力に基づくTj (接合部温度) の計算
- Libero SoC からのImport



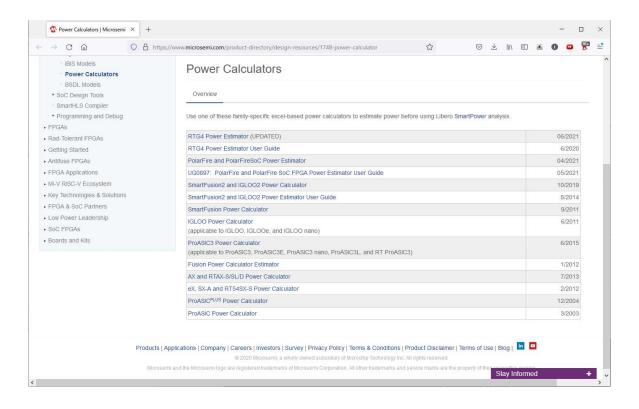
消費電力見積もり



© Macnica, Inc.

入手方法

- Microchip メーカーページのURL
 - https://www.microsemi.com/product-directory/design-resources/1748-power-calculator
 - 。 ファミリー毎のリンクより入手可能





User Guide

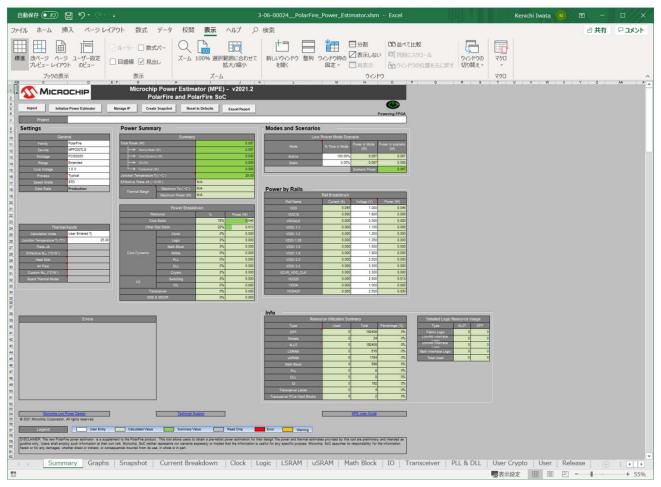
● 詳細はUser Guide参照

- PolarFire UG0897
- https://www.microsemi.com/document-portal/doc_download/1244575-ug0897-polarfire-and-polarfire-soc-fpga-power-estimator-user-guide
- SmartFusion2/IGLOO2 User Guide
- https://www.microsemi.com/document-portal/doc_download/132884-smartfusion2-and-igloo2-power-estimator-user-guide



MPEの起動

● DownloadしたExcelをオープン





使用方法1



© Macnica, Inc.

使用方法1

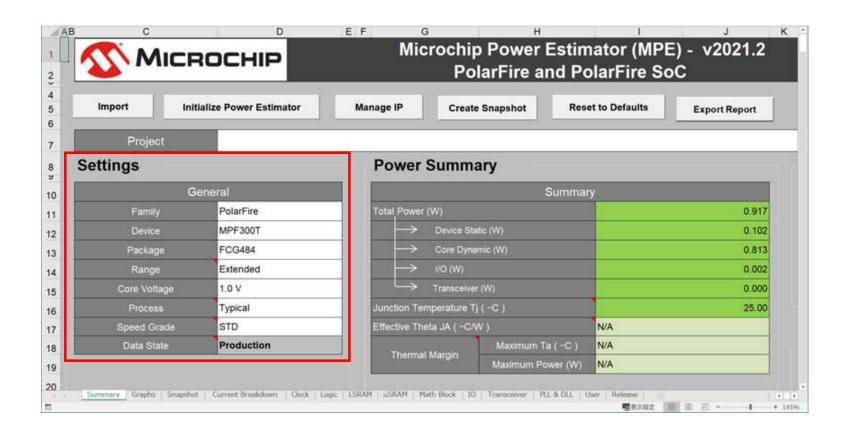
● 設計前

- 。 詳細仕様が未定時での大まかな見積もり
- 。 デバイス規模の使用率25/50/75/100%+動作周波数で見積もり



デバイス選定

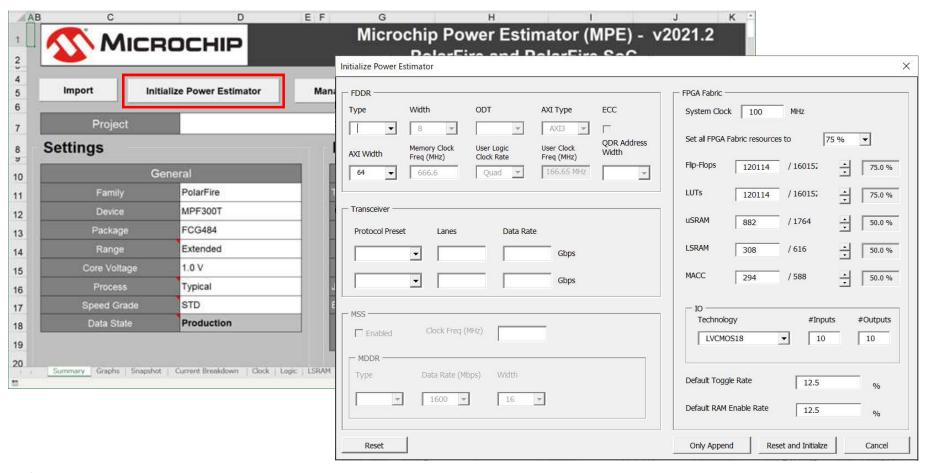
● "Settings"より選択





Initialize Power Estimatorをオープン

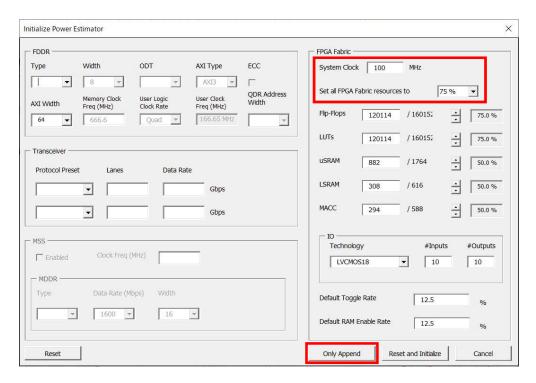
● "Initialize Power Estimator" ボタンを選択

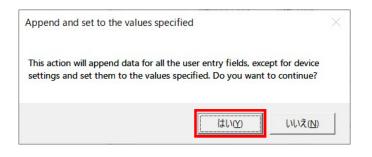




使用率+動作周波数の設定

- "System Clock" MHzに動作周波数(Fmax)を入力
- "Set all FPGA Fabric Resources to"で25/50/75/100%を選択
- "Only Append"で決定、上書き確認で"はい"を選択

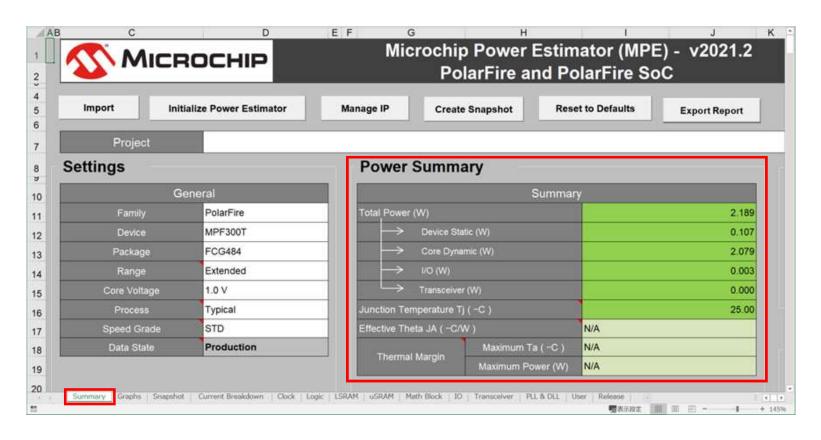






結果の確認

● "Summary"で結果を確認





使用方法2



© Macnica, Inc.

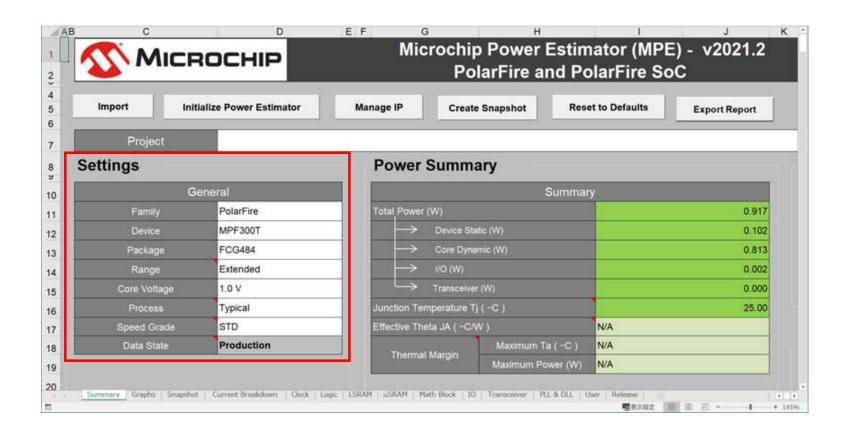
使用方法2

- 仕様確定または設計中
 - 。 **詳細仕様が確定**後または設計中で大まかな規模が設定可能



デバイス選定

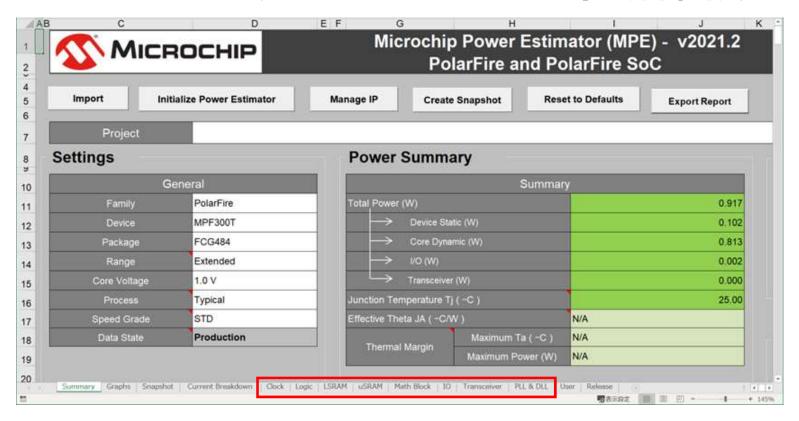
● "Settings"より選択





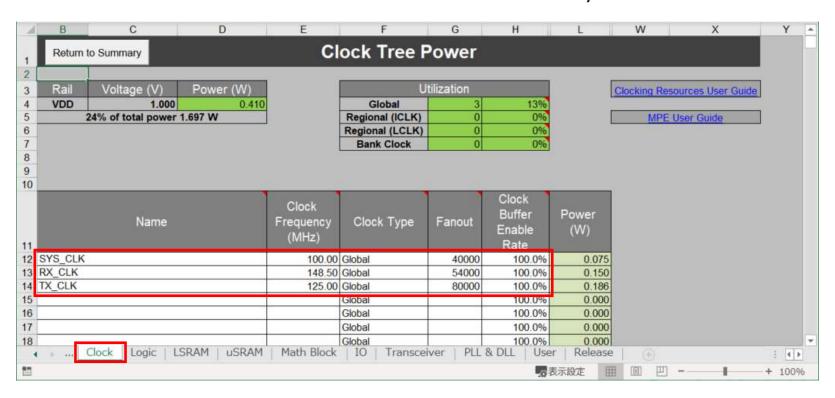
各種シートで詳細設定

● "Clock"、"Logic"、"LSRAM"、"uSRAM"、"Math Block"、
"IO"、"Transceiver"、"PLL & DLL" シートで詳細設定



Clockの設定

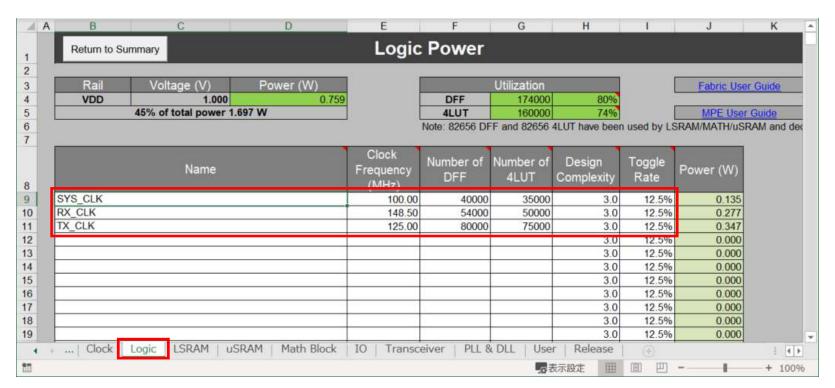
- "Clock"シートで入力
 - 。 クロック系統や周波数別に個別の名称で、周波数/Fanout 数を設定





Logicの設定

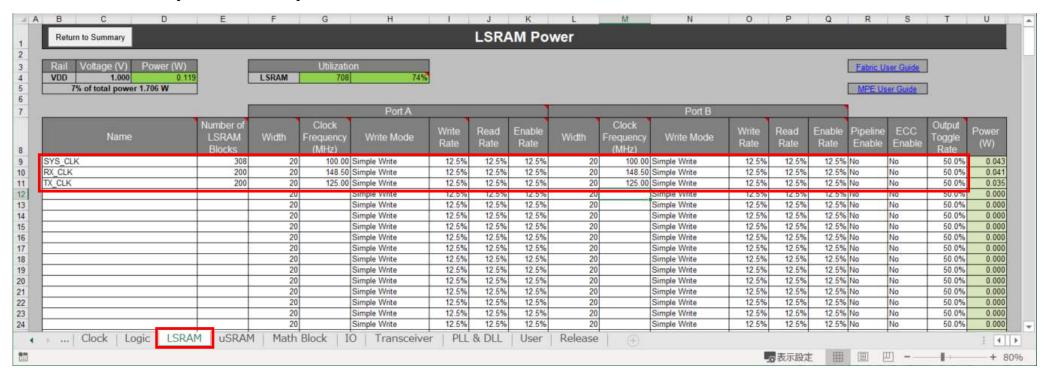
- "Logic"シートで入力
 - 。 クロック系統やコンポーネント名を個別の名称で、周波数/DFF数/4LUT数を 設定





LSRAMの設定

- "LSRAM"シートで入力
 - クロック系統やコンポーネント名を個別の名称で、LSRAM Block数 /Width(データ幅)/周波数などを設定

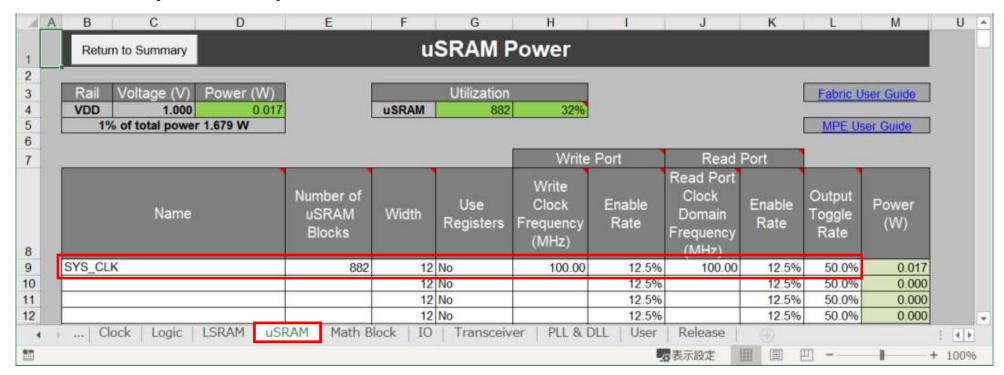




uSRAMの設定

● "uSRAM"シートで入力

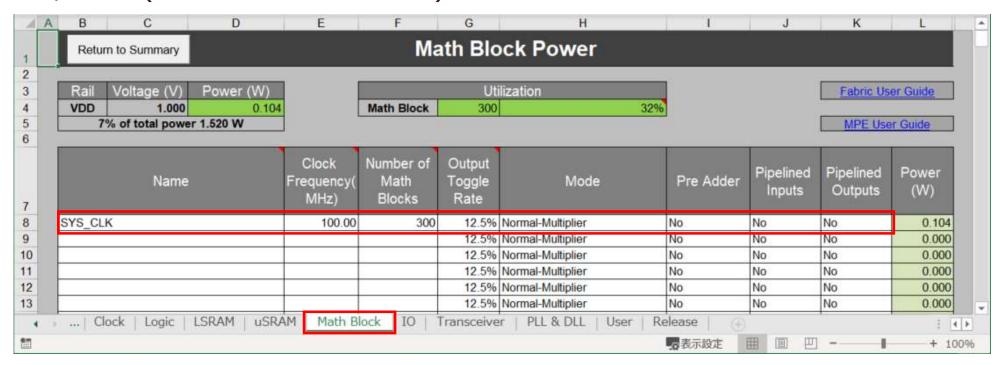
クロック系統やコンポーネント名を個別の名称で、uSRAM Block数 /Width(データ幅)/周波数などを設定





Math Blockの設定

- "Math Block"シートで入力
 - クロック系統やコンポーネント名を個別の名称で、周波数/Math Block数/Mode(ダウンリストより選択)などを設定

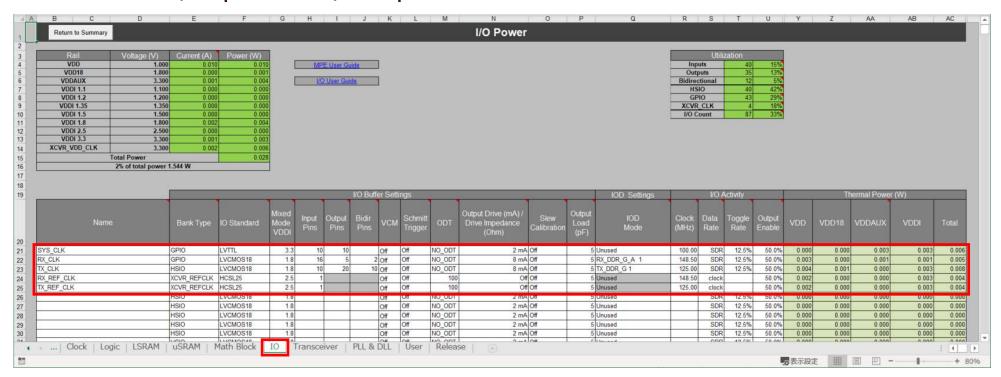




IOの設定

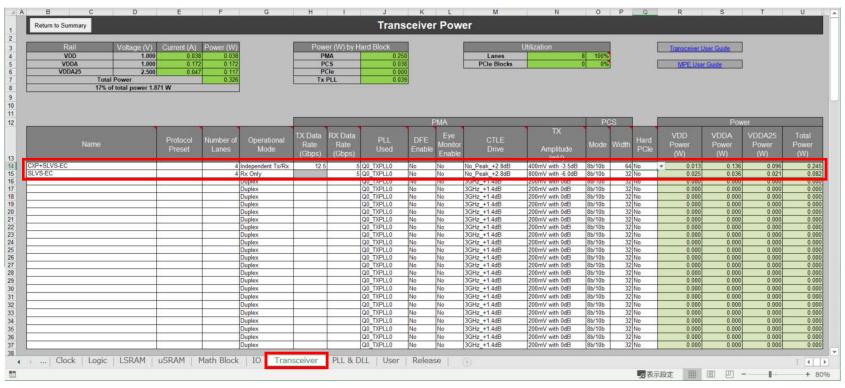
● "IO"シートで入力

クロック系統やIO Standardを個別の名称で、Bank Type/IO Standard/Input Pins/Output Pinsなどを設定



Transceiverの設定

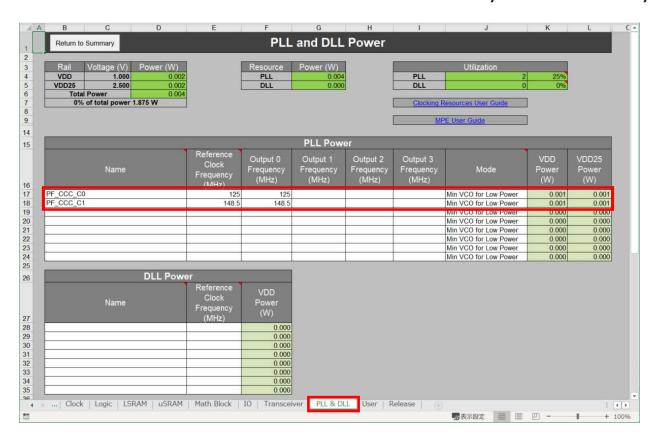
- "Transceiver"シートで入力
 - クロック系統やコンポーネント名を個別の名称で、Lanes/Operational Mode/TX Data Rate(Gpbs)/RX Data Rate(Gbps)Width(データ幅)/PLL Used/Widthなどを設定





PLL & DLLの設定

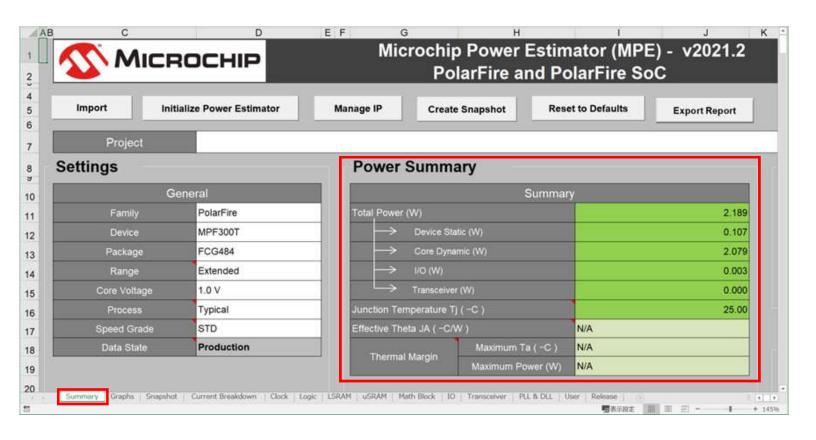
- "PLL & DLL"シートで入力
 - 。 PLLやクロック系統を個別の名称で、入力周波数/出力周波数/Modeを設定





結果の確認

● "Summary"で結果を確認





使用方法3



© Macnica, Inc.

使用方法3

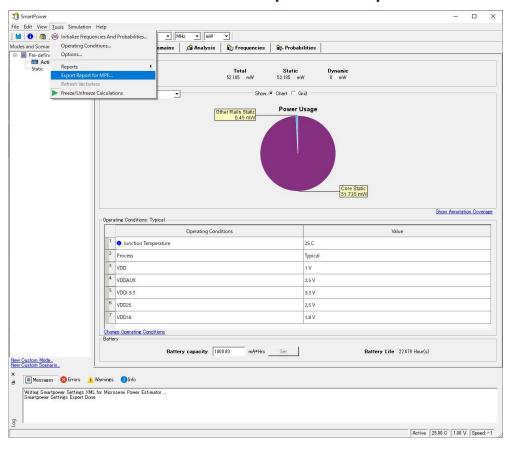
- Libero SoC からのImport
 - Libero SoC にて設計中でPlace & Routeまで可能、または、PLLやIPを配置 済みでPlace & Routeまで可能なサンプルデザインが用意可能
- 注意

MPEとLibero SoCのバージョンは要確認



Libero SoC のSmartPower で生成

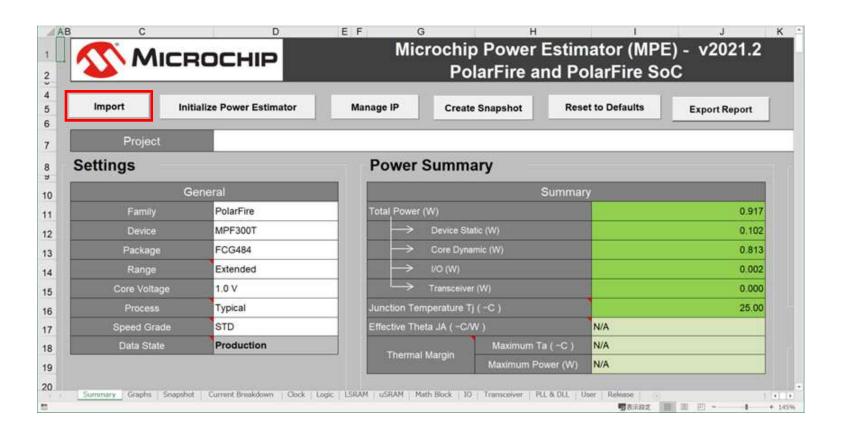
- MPE のImport用ファイルの出力
 - 。 SmartPower 起動後"Tools" => "Export Report for MPE…" を選択





Import

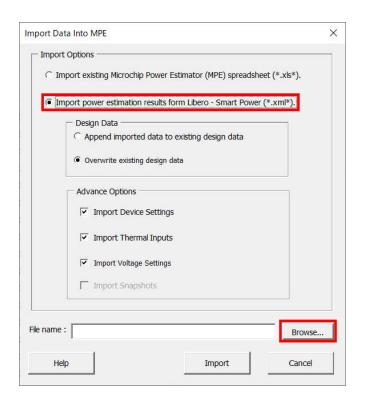
● "Summary"シートの"Import"を選択





Import

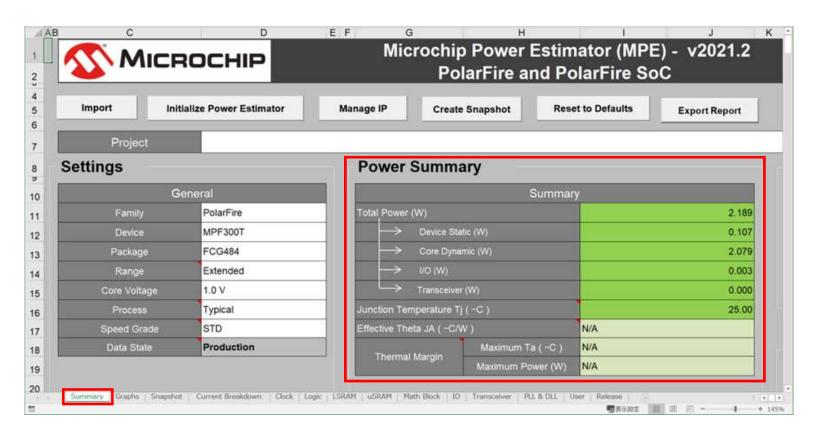
- "Import power estimation results form Libero Smart Power (*.xml)"を選択
- "Brows…"からSmartPowerよりExportしたファイルを選択





結果の確認

● "Summary"で結果を確認





履歴

● 改版

リビジョン	日付	概要
V2021_R1.0	2022年4月	新規作成

弊社より資料を入手されたお客様におかれましては、下記の使用上の注意を一読いただいた上でご使用ください。 1. 本資料は非売品です。許可なく転売することや無断複製することを禁じます。

- 2. 本資料は予告なく変更することがあります。
- 3. 本資料の作成には万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご一報いただければ幸いです。

© Macnica, Inc.

- 本資料で取り扱っている回路、技術、プログラムに関して連用した結果の影響については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 本資料は製品を利用する際の補助的な資料です。製品をご使用になる場合は、英語版の資料もあわせてご利用ください。

